

# 研究協力のお願い

昭和医科大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

関節リウマチ罹患妊婦の子供に神経発達障害を誘導する胎盤由来分泌タンパク質の臨床病理学的検討

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月から2023年11月までに昭和医科大学産婦人科で自然分娩し、同院臨床病理診断科において胎盤の病理組織診断が実施された妊婦さんのうち、分娩時胎盤標本および付随する情報が利用可能な患者さん

## 2. 研究目的・方法

関節リウマチに罹患した母親の子供では注意欠陥多動性障害や自閉症スペクトラム障害などの神経発達障害の罹患率が高いことが報告されておりますが、その発症メカニズムはわかっていません。近年、胎盤から分泌されるタンパク質が胎児に移行し子供の発達に影響することが報告されております。しかしながら、関節リウマチ合併妊娠における胎盤由来のタンパク質と子供の神経発達障害の関連は検討されていませんでした。そこで本研究では、自己免疫疾患の合併がない妊婦さんの胎盤と関節リウマチ罹患下で出産された妊婦さんの胎盤を比較し、胎児の神経発達に影響する因子が発現しているか病理標本を用いて解析します。本研究により関節リウマチ合併妊娠が誘導する子供世代の神経発達障害発症のメカニズム解明が期待されます。

## 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

病理標本（病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック等）

病理診断に付随する資料（病理検査申込書、病理検査報告書、カルテ情報等）

臨床情報（電子カルテ情報）

（患者さんから新たな検体の採取をお願いすることはありません）

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

**6. 研究組織**

研究責任者 昭和医科大学 薬学部 基礎医療薬学講座 生理学部門 中野 僑太

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられるについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 薬学部 基礎医療薬学講座 生理学部門

氏名：中野 僑太

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 旗の台キャンパス 2号館地下1階 (B-06)

電話番号：03-3784-8214 (平日 9時～17時)